

平成 30 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 紀 和 会

【はじめに】

社会福祉法人 紀和会の福祉サービスをご利用になられている皆様方、ご家族の皆様方ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の事業概況についてご報告申し上げます。

☆年度実績および全般状況

平成30年度の実績ですが、特別養護老人ホームの介護保険事業収入につきましては、前年対比が99.4%で、昨年度と比べ約1,500,000円の減額となっております。身体障害者支援施設の障害者福祉サービス事業収入につきましては、前年対比が104.1%で昨年度より約5,200,000円の増額となっており、紀和会全体の収入は、前年対比が100.8%で前年度に続きに厳しい状況となりました。そのような状況の中、施設運営を行う事ができましたのも、皆様方のご指導、ご支援、また職員の頑張りだと、厚く御礼申し上げます。

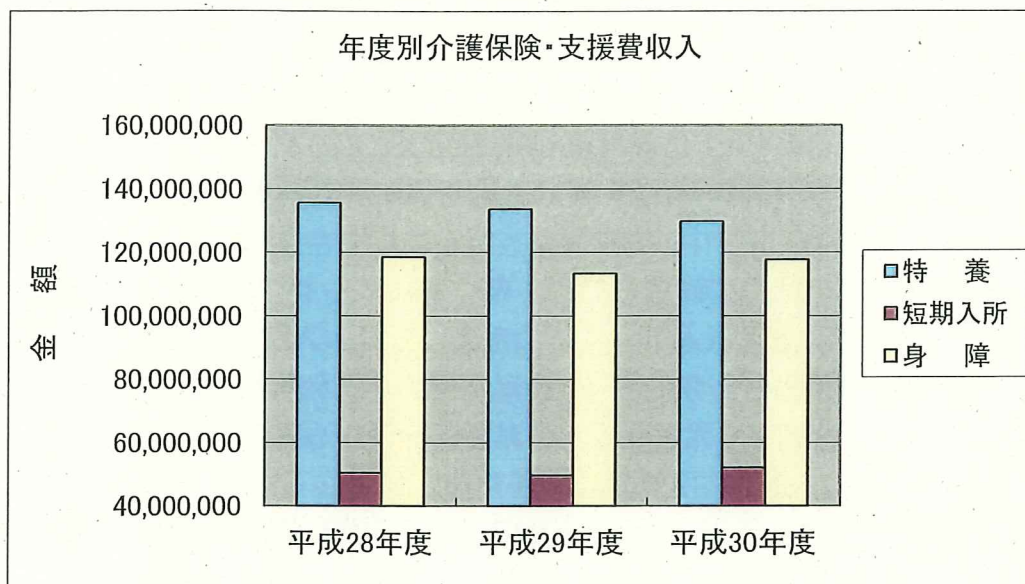
部門別では、特別養護老人ホームにつきましては、入院延べ日数が約1,200日と入院された利用者が非常に多く、長期利用の平均利用者数が46.0名、稼働率が92.0%と低い数字で大きな収入の減額につながっております。また短期入所につきましては、長期利用者の空床を有効に利用して稼働率を上げることができ、平均利用者数が19.6名、年間稼働率98.4%、前年対比で105.4%と昨年度よりも高い数字となっております。人件費につきましては前年対比100.8%、事務費支出においては前年対比80.8%、事業費支出においては前年対比95.9%となっております。

身体障害者支援施設につきましては、前年度は利用者退所後、次期利用者がなかなか決まらず、長期間の空床ができてしまったことで収入減の影響を及ぼす結果となりましたが、平成30年度につきましては、待機者が少ない中、少しでも空床を減らすことができるように近隣関係機関に対して問い合わせ等を行い、昨年度よりも空床を減らすことができました。平均利用者数が19.1名、年間稼働率が95.9%という数字となり、年間稼働率は前年対比で103.2%となっております。また、短期入所におきましても、平成28年度年間稼働率20.0%、平成29年度年間稼働率11.8%と稼働率が低い状況が続いていたので利用者の確保に努め、平成30年度は年間稼働率73.2%、平均利用者数が1.46名と高い数字を維持することができ、収入の増額に繋がりました。人件費については前年対比96.0%、事務費支出においては前年対比75.1%となっておりますが、数字が低くなった要因としましては平成31年2月に魚国総本社から直営での給食提供となり業務委託費が大きく減額したことで、事務費支出は、特別養護老人ホーム、身体障害者支援施設共に大きな減額となっております。また、事業費支出においては103.8%となっております。特養と身障を合わせた人件費比率は67.3%という数字になりました。

☆【部門概況】

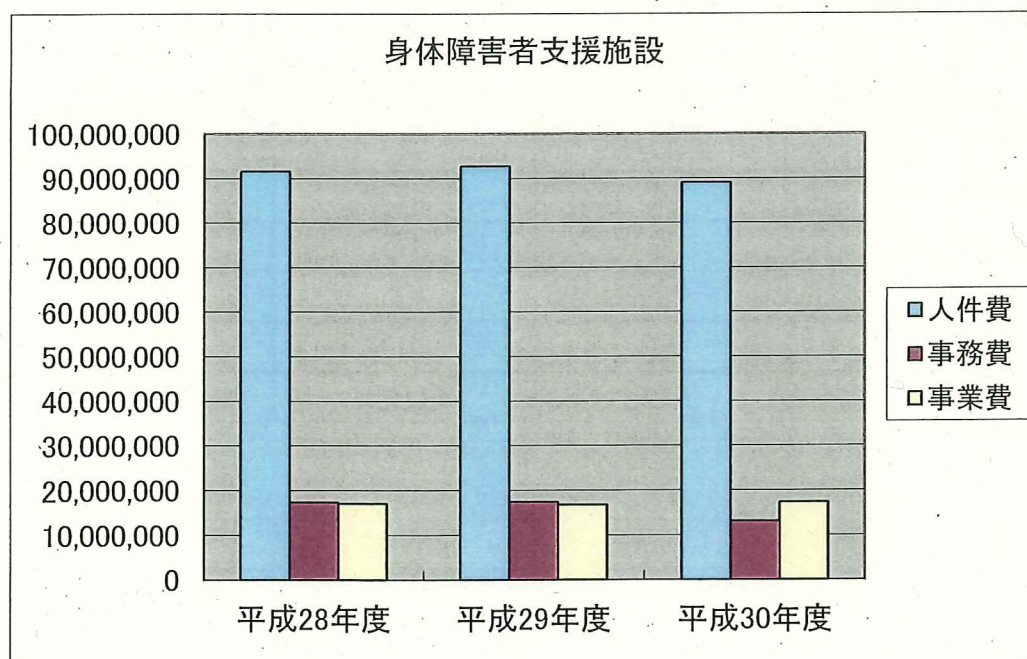
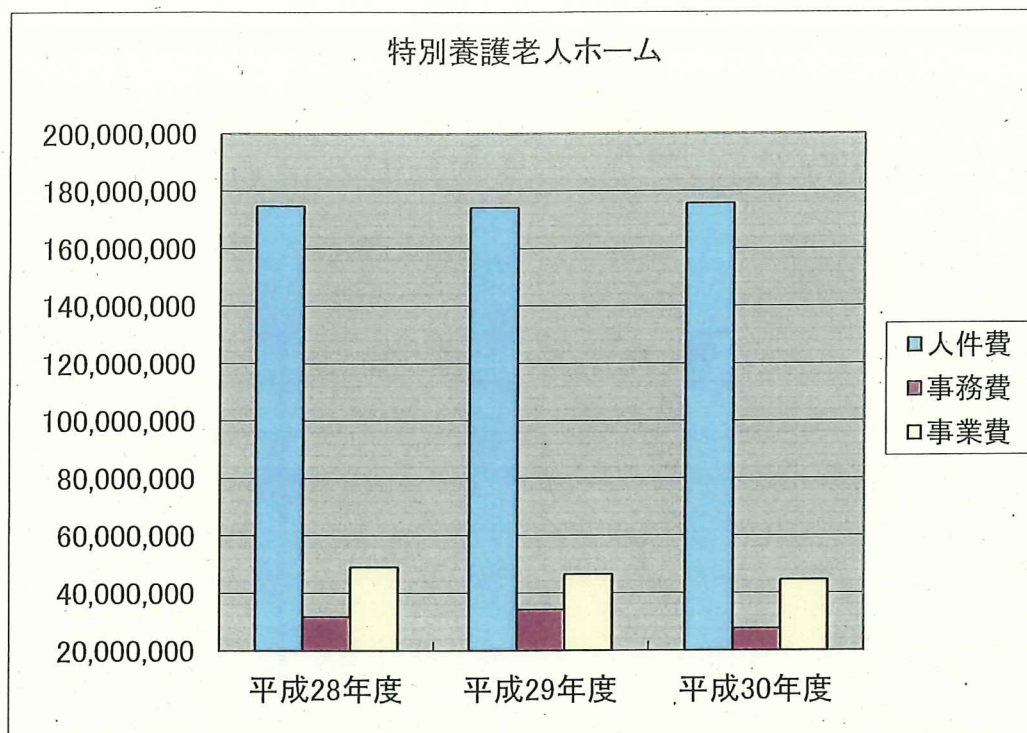
☆年度別介護保険・支援費請求収入一覧

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	前年対比
特 養	135,571,549	133,558,278	129,721,061	97.1%
短期入所	50,439,715	49,592,020	52,009,065	104.8%
身 障	118,517,630	113,305,460	117,690,630	103.8%



☆人件費等の割合

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	前年対比
特 養				
人件費	174,750,836	174,172,169	175,587,613	100.8%
事務費	31,666,011	34,134,000	27,604,698	80.8%
事業費	49,083,482	46,503,128	44,612,245	95.9%
身 障				
人件費	91,530,011	92,706,034	89,006,685	96.0%
事務費	17,334,439	17,396,606	13,064,375	75.1%
事業費	17,041,809	16,720,876	17,365,797	103.8%



【入所者の概要】

平成31年3月31日現在

・特別養護老人ホーム

☆人数・平均年齢

年齢区分	男 性	女 性	計
～ 69	0	1	1
70 ～ 74	0	0	0
75 ～ 79	2	1	3
80 ～ 84	1	8	8
85 ～ 89	2	7	11
90 ～	4	23	27
計	9	40	49
平均年齢(歳)	86.7	90.7	89.9

☆入所者介護度分布

介 護 度	男 性	女 性	計
要介護1	0	0	0
要介護2	0	1	0
要介護3	4	15	16
要介護4	4	15	21
要介護5	1	9	12
計	9	40	49
平均要介護度	3.66	3.80	3.77

☆入退所状況

30.4.1-31.3.31

	男 性	女 性	合 計
入 所	9	12	21
退 所	6	16	22

☆退所内訳

	男 性	女 性	合 計
病院入院	2	6	8
入院病院等にて永眠	4	9	13
他施設入所	0	1	1
合 計	6	16	22

☆短期入所利用状況

	28 年度	29 年度	30 年度	月別平均	前年対比
4月	579	573	535	17.83	93.3%
5月	616	548	596	19.22	108.7%
6月	566	600	529	17.63	88.1%
7月	609	641	636	20.51	99.2%
8月	603	631	610	19.67	96.6%
9月	570	607	574	19.13	94.5%
10月	595	576	625	20.16	108.5%
11月	572	449	626	20.86	139.4%
12月	535	501	622	20.06	124.1%
1月	534	521	602	19.41	115.5%
2月	556	533	600	21.42	112.5%
3月	629	616	628	20.25	101.9%
月平均	19.08	18.61	19.67	19.67	105.6%
利用日数	6964	6796	7183		
年間稼働率	95.4%	93.0%	98.4%		

・身体障害者支援施設

平成31年3月31日現在

☆ 人数・平均年齢

年齢区分	男 性	女 性	計
～ 24	0	0	0
25 ～ 29	0	0	0
30 ～ 34	0	0	0
35 ～ 39	1	0	2
40 ～ 44	0	1	1
45 ～ 49	1	1	1
50 ～ 54	3	0	2
55 ～ 59	0	1	1
60 ～	6	6	12
計	11	9	19
平均年齢(歳)	58.8	62.7	60.6

☆入所者支援区分分布

支 援 費	男 性	女 性	計
区分3	0	1	1
区分4	2	0	2
区分5	2	0	2
区分6	7	8	15
計	11	9	20
平均支援費区分	5.45	5.66	5.55

☆入退所状況

30.4.1-31.3.31

	男 性	女 性	合 計
入 所	1	2	3
退 所	2	0	2

☆退所内訳

	男 性	女 性	合 計
病院入院	0	0	0
入院病院等にて永眠	1	0	1
他施設入所	1	0	1
合 計	2	0	2

【行事報告】

・特別養護老人ホーム

平成 30 年

5月23日 遠 足 参加者 62 名

あいにくの雨により、裏庭に出ることができず、食堂にて昼食を摂り、デザートとしてバケツプリンを用意し利用者に大きさを覚えてもらった後、食してもらい利用者も楽しまれた。

8月 8日 夏 祭 り 参加者 66 名

特養・身障の利用者、家族、職員、地域の方々が大勢参加され、盛大な盆踊り大会となった。特養・身障の利用者も家族と一緒に踊りの輪に入って踊ったり、屋台の食べ物に舌鼓をうったりと楽しまれ、交流を深めた。

9月19日 敬 老 会 参加者 65 名

敬老の日をお祝いし、一日利用者と楽しく過ごすことを目標として、豪華な食事を食べてもらい、アトラクションでは利用者の家族による太鼓・ギターの演奏、玉入れゲームなどを行い、利用者も楽しまれた。

12月12日 忘 年 会 参加者 64 名

お寿司などの豪華な昼食に加え、アトラクションでは、職員によるダンスや写真のスライドショーなどがあり利用者も楽しまれた。また最後には利用者にプレゼントを配った。

12月28日 餅つき大会 参加者 63 名

家族も参加して、利用者、職員と一緒にもちつきを行い、昼食は参加した家族も一緒に松花堂弁当やつきたての餅を食べて団欒のひと時を過ごし、正月が近づいたという雰囲気を感じていただき、利用者・家族共に大変喜ばれた。

平成 31 年

2月 3日 節分豆まき会 参加者 65 名

職員が鬼に扮装し、食堂にて利用者と職員とで「鬼は外、福は内」の掛け声もと豆まきをして楽しまれた。

・身体障害者支援施設

平成 30 年

4 月 26 日 バーベキュー 全員参加

施設内 2 階ベランダにて実施し、焼き肉・焼きそば・ローストビーフ・飲酒等を楽しまれ、外の空気も味わえると好評だった。

5 月～6 月 春の希望外出 15 名参加

原則、全員参加で今年度は 6 グループに分けて、5 月から 6 月にかけて利用者個々の希望を聞き、1 日かけて大内山動物園、太地くじらの博物館、亀公園、新宮イオンなどに行き、ショッピングや食事だけでなく、動物のアトラクションを見たりと今までにはなかった外出機会を設け、利用者も楽しめた。

8 月 10 日 夏 祭 り 全員参加

ゆうなん駐車場において、利用者と家族や地域の方々とふれあいながら盛大に行い、利用者は、屋台の焼きそばや焼き鳥等を食べたり、地元歌手の歌謡ショーや打ち上げ花火、踊りなどを楽しまれた。

9 月～10 月 秋の希望外出 全員参加

春の希望外出と同様に、利用者個々の希望外出先や希望の食事を聞き、希望に応じた外出となるように計画し実施をした。今回は 9 グループに分けて少人数で新宮オークワ、新宮イオン、紀和町道の駅に行き、ゆっくりと買い物や食事などを楽しまれた。

10 月 9 日 身障・特養交流運動会 全員参加

身障・特養の利用者の交流を目的として実施し、フィッシングゲームや風船割り、お菓子食い競争など特養の利用者にも楽しんでもいただける種目で開催し、利用者だけでなく職員も参加し交流を深めた。

12 月 21 日 クリスマス会 全員参加

食堂にクリスマスを感じていただけるように飾り付けをし、お寿司やハンバーグ、ケーキなどの豪華な食事に加え、職員によるアトラクションとボランティアによる和太鼓の演奏などを行い、利用者も楽しまれた。

12月28日 餅つき大会 全員参加

利用者と職員が一緒になって2回餅をつき、利用者は、つきたての餅を食べて楽しめた。

平成31年

2月 3日 豆まき大会 全員参加

食堂にて、利用者と職員にて豆まきを行った。職員が鬼の衣装を身につけ、利用者は豆をまいたり、歳の数だけ豆を食べたりと楽しめた。

※利用者の誕生日月にはハッピーデーとして誕生者の行きたい場所へ職員と一日かけて出かける外出支援を実施している。

【クラブ活動】

・ 特別養護老人ホーム

生花クラブ

万葉集を中心、生花を通して心の安らぎを感じ取ってもらう事を目標に実施しました。

・ 身体障害者支援施設

利用者の希望するクラブに入ってもらい、毎月クラブ活動を実施しました。また、クラブ活動を行うことにより利用者間の親睦を深めました。

・ コーラス部

・ パソコン部

・ 美術部

・ 創作部

・ 園芸部

・ オセロ部

【会 議】

施設の機能と職員の連携を有効に活用し、いかに合理的に施設運営と利用者処遇を両立させることができるか、意見交換と連携を行い各職種間、職員間並びに職員と利用者間の理解、信頼、協調を深めたより良い施設作りを推進し、利用者の人権が守られた快適な生活を確保する為、次の会議を実施した。

・ 部署会議

各部署責任者で構成し、施設全体の動向を把握し、改善事項や業務の連絡調整などについて話し合いを実施した。また、収支状況を報告し、施設の経営に関する方向性を共有した。

・ 主任会議

主任クラスの役職員で構成し、利用者に対するサービスの質の向上のために処遇の改善や業務内容等の問題点を検討し、他の会議から挙げられた議題についての検討を実施した。

・ リーダー会議

業務における指示の徹底・改善事項等について話し合い、またチーム会議で挙げられた問題等について検討を実施した。

- ・ チーム会議

各職員が、ケアプランのモニタリングや利用者の処遇に関する問題点等について検討し、利用者の介護に反映されるように話し合う。また、会議の中でだされた検討・改善事項についてはワーカー会議等への議題提起を行った。

- ・ サービス担当者会議（特養）

各部署のサービス担当者によるケアプランのモニタリングの結果や利用者の処遇に対する問題点について話し合い、ケアプランの見直し、改善を行った。

- ・ サービス担当者会議（身障）

利用者へのサービス内容を評価し、利用者に最も適したサービスが提供できる様に定期的開催した。

- ・ ワーカー会議（特養・身障）

各職員が、いろいろな意見を出し合い、業務・利用者処遇についての問題点について検討を行った。また、業務における指示等を再度検討し、徹底した。

- ・ 給食会議

食生活に潤いと変化を持たせ、喜んでもらえる食事が提供できるように話し合いを実施した。

- ・ 入所者判定会議（特養・身障）

入所の決定に係る「入所判定会議」を開催し、入所順位名簿を整備するとともに、入所希望者の入所の決定を行うため実施した。

- ・ 事務所会議

事務所としての課題や問題点について提起し、課題等に対する対応策や評価を行い、情報共有に努めた。

- ・ 医務室会議

利用者に対する健康管理・処置方法の検討及び看護職員が少ない中、業務を円滑に行うにはどのようにすればよいのか検討を行った。

- ・ 利用者会議（身障）

利用者からの希望・意見を聞き、利用者の希望・意見を尊重した支援ができるように話し合いを行った。

【給 食】

給食はおいしく、楽しくということを基本として、利用者個人の状態に応じた食事を提供し、なおかつ、食べていただくことにより、必要な栄養量を確保し、体調を維持していただかななくてはならない。そのため、嗜好調査・メニュー意見箱や日々の残菜調査の結果を献立に組み込み、また毎月給食会議を開催し、検食簿や意見交換によって食べやすい食事作りに努めると共に、食事形態の工夫や選択食の実施をするなど、嗜好や毎日の健康状態の差に対応できるように努めました。平成31年2月からは、三重魚国撤退により自前での食事提供となりましたが、利用者に食事を楽しんでいただくため、食事の質を落とすことなく提供し、衛生管理の徹底に努めました。また、毎月1回お楽しみ食の日を定め、四季折々の食材で、ご馳走メニューを作り、松花堂弁当に詰めてノンアルコール等と共に特別食を提供して雰囲気盛り上げました。一方、お楽しみ食とは別の特別食として、特別養護老人ホームでは5月に花見、9月に敬老会、12月には忘年会・家族と一緒に餅つき大会を実施し、つきたての餅と昼食を家族と一緒に楽しんでもらいました。その他、定期的にチームごとに手作りケーキを提供し、お誕生会を行いました。

また身体障害者支援施設では4月に施設の中庭でバーベキュー、12月にクリスマス会として飾られた食堂で職員・利用者などによるアトラクションを楽しみながら昼食を召し上がっていただき、年末には餅つき大会を実施し、つきたての餅をおやつに食べていただきました。また、食堂が2階にある身体障害者支援施設では、厨房の様子やにおいなどをまったく感じるできない為、1カ月に1度利用者の前で簡単な調理を行う出張クッキングを実施、食事は毎食温冷配膳車に入れて提供し、利用者には大変喜んでいただいています。共通のイベントでは、夏祭りで屋台の食べ物を提供し楽しんでいただいています。

平成30年度 実施給与栄養量		
	特別養護老人ホーム 入所者	身体障害者支援施設 入所者
エネルギー	1376kCal	1593kCal
たん白質	52.0g	60.0g
脂肪	34.9g	39.0g
カルシウム	446mg	483mg
鉄	6.8mg	7.7mg
ビタミンC	279mg	270mg
食物繊維	9.4g	9.8g
食塩	6.9g	7.7g

※ 入所者の食事形態状況

主食は常飯、軟飯、粥、半ペースト、ペースト粥、ゼリー粥、パン食とし、副食については常菜、細刻み食、細の超刻み食、超刻み食、半ペースト食、ペ

ースト食があります。嚥下状態のよくない利用者には、ソフト食を提供しています。

【検討委員会】

- ・ 身体拘束廃止検討委員会

利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく職員一人ひとりが身体的・精神的弊害を理解し、身体拘束廃止に向けた意識をもち、身体拘束廃止検討委員会が中心となり、身体拘束をしないケアの実施に努めました。また身体拘束の適正化に関する指針を整備し、年2回の研修を実施しました。

- ・ ヒヤリハット検討委員会

検討委員会で傾向と対策をまとめ、職員へ周知徹底することで、骨折等の事故を未然に防ぐよう努めておりますが、認知症の方の徘徊等による事故・ヒヤリハットが増えているのも現実で、より安全で安心できる環境を提供できるよう、事故報告書・ヒヤリハット報告書を基にして、ハード・ソフト面での防止や改善策を検討し、様々な取り組みを実施しました。また骨折等の事故については、関係機関に報告を行うなどの迅速な対応を行いました。

- ・ 感染症対策検討委員会

- ・ 平成 30 年度は、「施設内に職員が感染症（感染源）を持ち込まない」を目標に行いました。
- ・ 食中毒注意月間の 5 月から 10 月までのお願いとし、ご家族宛に、差し入れ等の注意事項を記入した書類を送付しました。
- ・ 11 月にはノロウィルス、インフルエンザについて、施設内研修を実施し、吐物の処理方法の実践等を行いました。
- ・ 平成 30 年度の感染症は、特別養護老人ホームでは平成 31 年 1 月、身体障害者支援施設では平成 30 年 12 月に多くなりましたが、限定的な罹患で止まり、その他の感染症については、特別養護老人ホームでインフルエンザに感染された 1 名出ましたが、感染拡大はしていません。
- ・ 褥瘡については、褥瘡の状態について情報共有し、処置・除圧の徹底を行いました。

- ・ リスクマネジメント委員会

施設としてより良いサービスを提供するために、事故やヒヤリハットについての検討だけでなく、身体拘束、苦情等についても会議を開き予防

策や改善策について検討を行いました。事故、ヒヤリハットについては、発生場所、発生時間等の統計を取り統計結果をもとに少しでも事故を未然に防ぐことができるように努めました。

【医 療】

施設の中で過ごす利用者にとって、日々充実した生活を送るためには、何よりも健康であることが第一です。そのために毎日職員間で行う情報交換をもとに疾病の早期発見、早期治療に心がけており、熱発時や緊急時は嘱託医に連絡し早期受診を行っています。また嘱託医以外にも定期受診として紀南病院の眼科、脳外科、神経内科、リウマチ外科等に通院をしています。その他、年1回の利用者健康診断(身体障害者支援施設の利用者については、年2回)を行い、また糖尿病や貧血の状態チェックのため嘱託医の指示により3ヶ月から6ヶ月毎に血液検査を行っています。職員も年1回の健康診断(夜勤を行う職員は年2回)を行い、再検査が必要な職員は受診をし、健康管理に努めました。

インフルエンザについては、利用者(本入所)、職員ともに予防接種を受け、利用者1名が罹患しましたが、隔離等の感染拡大防止に努め、拡大には至りませんでした。

【安全対策】

近年、地震に対する防災対策だけでなく、台風や大雨に伴う風水害・土砂災害で被災する福祉施設が増加し、風水害・土砂災害に対する防災対策が非常に重要となっております、当施設としましても、平成30年度は前年度の避難訓練の課題等を踏まえた上で、大雨に伴う土砂災害を想定した避難訓練を平成30年11月に実施しました。火災を想定した訓練についても平成30年7月、平成31年3月の2回消防総合訓練を実施し、多数の高齢者及び身体障害者の方々が生活している中で、災害時の危険性を予見し、未然に防止するため、出火防止対策や土砂災害時の対策等の徹底並びに夜間における防災管理体制の強化に努めました。

熊野市と協定を結んでいる福祉避難所について、三重大学、三重県、熊野市、近隣施設等との年6回のワーキングを通してケアホーム熊南福祉避難所マニュアルを作成しました。平成30年11月、平成31年3月には作成したマニュアルに沿って仮設簡易トイレの組み立て、炊き出しなどの福祉避難所訓練を行い、福祉避難所としての機能の充実に努めました。

【職員研修】

平成 30 年度につきましては、多くの研修会へ参加し、またあらゆるテーマに沿った施設内研修も実施いたしました。やはり提供サービス向上のためには、施設内外での研修への参加をすることにより新しい知識や手法を積極的に取り入れて、専門的知識・技術の向上が必要であり、職員の資質向上を図るうえでも職員研修を充実させてきました。

三重県社会福祉協議会主催の生涯研修、業種別研修、課題別研修を中心に参加することにより、社会福祉従事者としての自覚や使命感を育てることや、専門性や処遇技術の向上、問題解決能力を養うための自己啓発の促進等、職員個々のレベルアップを図ることで、利用者へ満足のいくサービスの提供を行うことができます。

平成 30 年度 職員研修実施一覧表

特別養護老人ホーム ケアホーム熊南

	研 修 名	研修先	研 修 日	参加職員
5月	社会福祉施設等新人研修	津市	5月9日	1名
	介護報酬加算算定推進セミナー	津市	5月19日	1名
	経営協総会・経営セミナー	津市	5月25日	2名
	三重県老施協総会	津市	5月30日	2名
	福祉避難所運営ワークショップ	ゆうなん	5月22日	6名
	緊急時対応研修会	ゆうなん	5月29日	27名
6月	福祉避難所運営ワークショップ	ゆうなん	6月8日	5名
	介護保険サービス事業者等集団指導	松阪市	6月14日	2名
7月	社会福祉法人役員及び幹部職員研修	津市	7月3日	2名
	三重県経営協衛生管理研修会	津市	7月4日	2名
	新人職員研修	津市	7月5日～6日	1名
	熊野市社会福祉法人連絡会	熊野市	7月6日	1名
	老人介護施設職員研修会	多気町	7月12日	1名
	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会	岐阜県	7月12日～13日	2名
	新人職員研修	津市	7月18日～19日	1名
	三重県老施協特養部会	津市	7月23日	1名
	福祉避難所運営ワークショップ	ゆうなん	7月10日	5名
	福祉避難所運営ワークショップ	ゆうなん	7月31日	5名

	中堅職員研修	津市	7月31日-8月1日	1名
8月	三重県経営協前期セミナー	津市	8月22日	1名
	福祉避難所運営ワークショップ	ゆうなん	8月21日	5名
	熊野市社会福祉法人連絡会	熊野市	8月29日	1名
9月	チームリーダー研修	津市	9月5日～6日	1名
	福祉避難所運営ワークショップ	ゆうなん	9月10日	5名
	全国老施協会計研修	大阪市	9月19日～20日	2名
	中堅職員研修	津市	9月26日～27日	1名
	三重県感染症予防普及啓発推進者養成研修	津市	9月27日	1名
10月	熊野地域栄養管理ネットワーク研修会	熊野市	10月3日	1名
	老人介護施設介護技術研修	多気町	10月11日	2名
	普通救命講習	ゆうなん	10月22日	16名
	三重県経営協労務管理研修会	津市	10月29日	1名
	人材確保研修会	津市	10月30日	1名
11月	ハザード・インベージ 対策研修会	ゆうなん	11月2日	28名
	熊野市社会福祉大会	熊野市	11月6日	1名
	食品衛生講習会	熊野市	11月13日	1名
	働き方改革に対応するための労働時間管理セミナー	松阪市	11月14日	2名
	老施協紀州ブロック施設長会議	熊野市	11月16日	3名
1月	老人介護施設職員リーダー育成研修	熊野市	1月17日	1名
	障がい者雇用促進セミナー	津市	1月25日	1名
2月	退職共済制度実務研修	津市	2月13日	1名
	地域権利擁護支援研修	津市	2月28日	2名
	熊野市法人連絡会	熊野市	2月28日	1名
3月	経営協労務管理「働き方改革関連法」研修	津市	3月5日	2名
	三重県老施協第6回理事会	津市	3月5日	2名
	三重県老施協総会	津市	3月11日	3名
	老人介護施設職員（褥瘡予防）研修	多気町	3月14日	1名

平成 30 年度 職員研修実施一覧表

身体障害者支援施設 ケアホーム熊南

	研 修 名	研 修 先	研 修 日	参加職員
5月	第1回サビ管連絡会	玉城町	5月25日	1名
	福祉避難所運営ワークショップ	ゆうなん	5月22日	3名
	緊急時対応研修会	ゆうなん	5月29日	9名
6月	福祉避難所運営ワークショップ	ゆうなん	6月8日	3名
	京滋奈三重第1回QOL委員会	津市	6月14日	1名
	中堅職員研修	津市	6月26日～27日	1名
7月	全国身体障害者施設協議会研究大会	大阪市	7月31日～8月1日	4名
	福祉避難所運営ワークショップ	ゆうなん	7月10日	3名
	福祉避難所運営ワークショップ	ゆうなん	7月31日	3名
8月	福祉避難所運営ワークショップ	ゆうなん	8月21日	3名
9月	福祉避難所運営ワークショップ	ゆうなん	9月10日	3名
10月	第1回紀南地域自立支援協議会	熊野市	10月3日	1名
	第3回QOL委員会	奈良県	10月18日～19日	1名
	普通救命講習	ゆうなん	10月22日	4名
11月	ノリ仙・イノハナ 対策研修会	ゆうなん	11月2日	14名
	重度障がい児者とその家族の生活を考える部会	紀宝町	11月9日	1名
	第3回サビ管連絡会	名張市	11月16日	1名
1月	福利厚生センター広報講習会	津市	1月8日	1名
	三重県障害者虐待防止権利擁護研修	津市	1月9日	1名
2月	第4回サビ管連絡会	奈良県	2月15日	1名
	三重県障害者虐待防止権利擁護研修	津市	2月25日	1名
3月	近障協第2回施設長総会	大阪市	3月7日	1名
	第2回紀南地域自立支援協議会	熊野市	3月15日	1名

【施設訪問】

平成30年

7月17日	天理教南紀団鼓笛隊（鼓笛演奏）	40名
7月28日	コーラスかかし（コーラス）	10名
9月25日	親和会（踊り）	15名
10月11日	入鹿保育所（歌・ダンス）	18名

平成31年

3月22日	入鹿小学校（劇）	7名
-------	----------	----

【施設体験学習受入】

平成30年

10月4日	入鹿中学校体験学習	18名
-------	-----------	-----

【ボランティア】

平成30年

7月22日	板屋婦人会 （草刈作業）	9名
-------	-----------------	----

【職員異動】

- ・ 特別養護老人ホーム

☆法人内異動

	男性	女性	合 計
転 入	1	2	3
転 出	2	4	6
合 計	3	6	9

☆採 用

	男 性	女 性	合 計
新卒採用	0	1	1
中途採用	2	4 (非常勤2名含む)	6 (非常勤2名含む)
合 計	2	5 (非常勤2名含む)	7 (非常勤2名含む)

☆退 職

	男 性	女 性	合 計
定年退職	0	0	0
結婚・出産による退職	0	1	1
一般退職	1	1 (非常勤1名含む)	2 (非常勤1名含む)
合 計	1	2 (非常勤1名含む)	3 (非常勤1名含む)

☆職種別採用・退職

職 種	採 用	職 種	退職
施設長	0	施設長	1
介護職員	4 (非常勤1名含む)	介護職員	0
看護職員	1	看護職員	1 (非常勤)
栄養士	1	栄養士	1
事務員	0	事務員	0
調理員	1 (非常勤1名含む)	調理員	0
その他	0	その他	0
合 計	7 (非常勤2名含む)	合 計	3 (非常勤1名含む)

・身体障害者支援施設

☆法人内異動

	男性	女性	合 計
転 入	2	4	6
転 出	1	2	3
合 計	3	6	9

☆採 用

	男 性	女 性	合 計
新卒採用	0	0	0
中途採用	2	2 (非常勤)	4 (非常勤 2 名含む)
合 計	2	2 (非常勤)	4 (非常勤 2 名含む)

☆退 職

	男 性	女 性	合 計
定年退職	0	0	0
結婚・出産による退職	0	0	0
一般退職	4 (非常勤 2 名含む)	2 (非常勤)	6 (非常勤 4 名含む)
合 計	4 (非常勤 2 名含む)	2 (非常勤)	6 (非常勤 4 名含む)

☆職種別採用・退職

職 種	採 用	職 種	退職
介護職員	1	介護職員	2
看護職員	0	看護職員	0
事務員	0	事務員	0
調理員	3 (非常勤 2 名含む)	調理員	0
その他	0	その他	4 (非常勤)
合 計	4 (非常勤 2 名含む)	合計	6 (非常勤 4 名含む)

【職員構成】

・特別養護老人ホーム

平成31年3月31日現在

	特別養護老人ホーム 人員配置基準	特別養護老人ホーム ケアホーム熊南
施設長	1	1
副施設長（事務長兼務）		1
事務員		1
生活相談員	1	※1
介護支援専門員	1	※1
機能訓練指導員	1	1
看護職員	3	3
看護職員（非常勤）		0
介護職員	21	21
介護職員（非常勤）		7
栄養士	1	1
医師	1	1（非常勤）
合 計	30	38

※は、兼務

備 考）人員配置基準で介護職員及び看護職員の総数は、入所者：介護職員・看護職員＝3：1以上配置するという基準があり、特別養護老人ホームケアホーム熊南に、この数字を置き換えますと、70：24以上必要となりますが、平成31年3月31日現在では、70：29となっており配置基準値は満たしております。

・身体障害者支援施設

平成31年3月31日現在

	障害者支援施設 人員配置基準	身体障害者支援施設 ケアホーム熊南
施設長	1	1
副施設長		1
事務員		2
サービス管理責任者	1	1
相談支援員		※1
看護職員	1	2（非常勤）
生活支援員	6	9
生活支援員（非常勤）		2
栄養士	1	※1
介助員（非常勤）		3
運転手（非常勤）		1
理学療法士	1	1（非常勤）
医師	1	1（非常勤）
合 計	12	25

※は、兼務

備 考）人員配置基準で、看護職員、理学療法士又は作業療法士及び生活支援員の常勤換算での総数は、定員数を平均区分が4未満では利用者数を6で除した数、平均区分が4以上5未満では利用者数を5で除した数、平均区分が5以上では利用者数を3で除した数が基準となっており、身体障害者支援施設ケアホーム熊南では、平成31年3月31日現在、平均区分が5.55であるため、定員22名を3で除した数、7.4人以上必要となりますが、総数で11.9人配置しておりますので基準値は満たしております。